- 顧問契約 -

離職率低下コンサルティング

株式会社 「同じ業界の早期離職データをもとに就業規則の見直し、定着率向上を図る」

HOMURI+

作成日:2024年11月2日

目次

- 01 背景と目的
- 02 貴社の現状と課題
- 03 同じ業界の現状と退職データ
 04 改善策の提案
- 05 実施計画
- 06 見込まれる効果
- 07 今後の流れ





01 **背景と目的** 定着率向上のため、『同じ業界の早期離職データ』をもと にした就業規則の見直しを提案

3/23









02 貴社の現状と課題

企業情報と就業規則

実際に伝えられた退職理由など













就業規則について※一部抜粋





貴社の課題 02

■実際に伝えられた退職理由

・会社説明時と実際の勤務での時間外労働が思っていたのと違う。想定より多くの仕事量が割り振られ、時には サービス残業もして、精神的にも今後続けることが難しいと考えました。





03 同じ業界の現状と退職データ

退職代行利用企業、利用者数などの開示 多く挙げられる労務問題の実例や早期離職者データ





同じ業界の現状と退職データ

03

項目	データ	
退職代行を利用された 企業	105社	
退職代行利用者数	890名	
平均年齢	25.3歳	
新卒人数	132名	
新卒者の割合	21%	

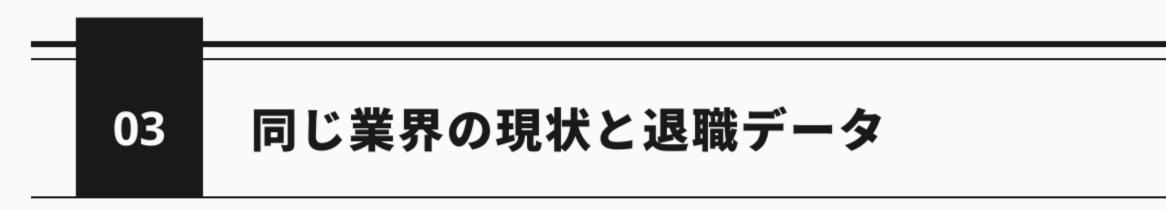












退職代行利用者の 職種別割合について



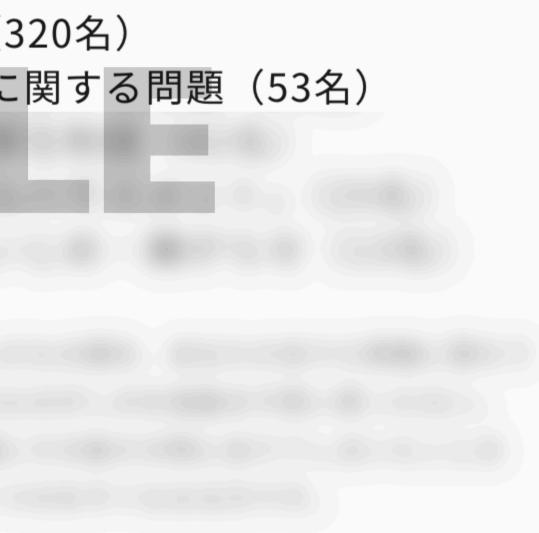




■実際に多く挙げられる労務問題

- ・従業員を働かせすぎる「過重労働」(過労)問題(320名)
- ・配置転換、人事異動、賃金引下げなど待遇の変化に関する問題(53名)



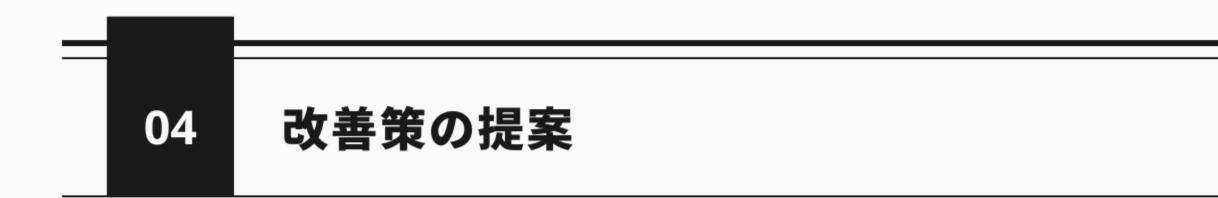




現在の就業規則からの変更提案







■現在の就業規則からの変更提案























06 **見込まれる効果**

変更した就業規則の導入により見込まれる離職率の推移







見込まれる効果

現在の退職者数と 推定推移について



(データ:現在の退職者数と想定推移)















07 今後の流れ

■次回経過観察打ち合わせ日

2024/ / 00:00~00:00

■打ち合わせ内容

引き続きよろしくお願いいたし



